

社員の皆様へのメッセージ

株式会社イナテック

代表取締役社長 稲垣良次

2013. 3
No.235

社員意識・幹部意識・経営者意識

致知2013年2月号

ビジネスマンの意識には、社員と幹部意識と経営者意識があります。新人の人でも経営者意識を持っている人もいれば、部長でも社員意識で仕事をしている人がいます。

肩書きはどうであれ意識は自由です。我々は常に経営者意識で仕事をしたいと考えております。

イナテックでは、京セラの『アメンバー会』を導入しています。まさしく各課を会社と見立てて、課長さんも経営者意識になっていただくために特訓中です。

そこで上司（社長）が部下（幹部）に意識のズレを感じて不信感を抱く五つの行動があります。

- 一 陰で上司（社長）を批判しているのが耳に入る。
- 二 報告せず指示を勝手に変える。
- 三 失敗を隠す。
- 四 労働者意識を感じる。
- 五 業績不振など、いざという時に逃げるなどです。

肩書きは決して「ご褒美」ではなく、仕事を発展させる為にあることなんです。

また、それぞれの管理・監督の方々に『役職手当』がそれなりに支給してあります。その役職手当は部下とのコミュニケーションを取るための『交際費』であると矢野先生から教えていただきました。

だから色々な意味で「経営者意識」を持っていたら、人間の器を広げて頂きたいということす。

チーム（会社・TPMサークル・etc）メンバーが全員で持たなくてはならない心構え
（矢野先生塾より）

- ① やる気と目標志向
管理者（課長・係長）は、目標を明確にしてチームのやる気を起こさせる。
- ② 進んで責任を負うこと
チームのメンバー（社員一人一人）は何かの責任を必ず持っています。他人（上司・部下）に責任を転嫁したり、人を非難したりしてはいけません。経営者意識を持って発生してくる問題を乗り切ることです。
- ③ 協調性
チームの皆は新しいアイデアを出し、部下の意見に耳を傾け、人間として向かい合い、行動することによって部下は最高の力を発揮します。
- ④ 積極的・肯定的な行動
部下が仕事の士気を下げるような動・言動を取った時は、しっかり注意する。
・非生産的な部下に対して叱らない。

- ・配置転換もさせない。
- ・公然と反抗している部下
- ・予算・目標を守らない。

部下には厳重注意が必要で、ある時にはその分子を排除しなくてはなりません。

これらが、チーム全員が持たなくてはならない心構えです。T P M活動においてもチームワーク・コミュニケーションが必要ですので宜しくお願い致します。

「数字と時間に」こだわり大切にしよう

3月14日はT P M優秀賞カテゴリーAの一次審査の日です。その際『T P M実施概況書』を皆さんに作成いただいています。私も確認させて頂きましたが、数字の違い、単位の違いや不明確な所もあり、やはり事実を事実として数字で証明する習慣に変え、もっとこだわりたいと思います。

また、発表する機会も多くなってきました。審査員の方々やお客様にいかに分かりやす

く明確にご理解頂くために練習する必要があります。

そのためにも、『発表時間厳守』は基本中の基本です。アナウンサーでいうと持ち時間の2秒前で終わるのが常識のようです。早すぎても問題です。

発表（プレゼン）の100%良品を目指そうではありませんか。近道はありません。練習に次ぐ練習しかないようです。手を抜かず頑張り、良い習慣を身につけましょう。

こわい時間のお話

「6時20分前」と若い当社の社員が言っていました。我々は普通は『5時40分』

と指すことが常識で、当たり前と思っていました。

ところが、若い社員はなんと『6時20分ちよっと前』のことだと言うことが分かりました。

どこで日本語がこんなに変わってしまったのか定かではありませんが、20代から30第後半の人たちが本当に使っているようです。

だから同じ日本語でも正確に確認をしてコミュニケーションを取らないと、大変な間違いになってしまうということです。これは若者が・・・云々ではなく、先輩の我々が論し教えて行かなくてはならないことなんだと思います。皆さんご注意あれ。